

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記または、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	5月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
3	6月4日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月11日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/ 青本で学校を理解する/	ワークシート提出
5	6月18日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	ワークシート提出
6	6月25日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
7	7月2日	講義・演習	週報記載/電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
8	7月9日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
9	7月16日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
10	7月30日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
11	8月20日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
12	8月27日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
13	9月3日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
14	9月10日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記または、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月5日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	週報記載/SPI試験について理解する	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	週報記載/SPI試験について理解する	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月7日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月14日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月21日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月28日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	レポート
15	2月11日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	レポート
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	5月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
3	6月5日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
4	6月12日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	ワークシート提出
5	6月19日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	6月26日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	7月3日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
8	7月10日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
9	7月31日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	8月21日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
11	8月28日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
12	9月4日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
13	9月11日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
14	9月18日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
15	9月25日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	レポート
2	10月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	週報記載/SPI試験について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	週報記載/SPI試験について理解する	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	レポート
15	2月12日	講義・演習	3年生に向けて	レポート
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(1) イベント企画A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント - 一人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	05月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	06月01日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	06月08日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	06月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	06月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	06月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	07月06日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	07月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チケットについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	07月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	07月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	08月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	08月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	08月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	09月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(1) イベント企画B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 斎藤 慧
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
学科・コース	音楽テクノロジー科					
教員の略歴						
授業の学習 内容	<p>講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える-</p> <p>受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、&lt;問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク&gt;など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。</p>					
到達目標	<p>自発的な行動力を身につける</p> <p>・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く</p> <p>・収集</p> <p>した情報を整理する</p> <p>・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する</p> <p>・評価をする</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	05月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	06月01日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	06月08日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	06月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	06月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	06月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	07月06日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	07月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チェッキングについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	07月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	07月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	08月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	08月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	08月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	09月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(2) イベント企画A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月09日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジューリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月07日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベントとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーパーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	01月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	01月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	02月01日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	02月08日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	02月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(2) イベント企画B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月09日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジューリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月07日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベントとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーバーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	01月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	01月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	02月01日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	02月08日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	02月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	音楽史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	グレゴリアンチャント、チャーチモード、記譜法の復習レポート
2	5月25日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	中世の西洋音楽の復習レポート
3	6月1日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
4	6月8日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)「ジャズ」について説明できる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
5	6月15日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
6	6月22日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
7	6月29日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
8	7月6日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
9	7月13日	講義・演習	中間確認テスト	1~8回までの復習総括レポート
10	7月20日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
11	7月27日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
12	8月3日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家①の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
13	8月17日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
14	8月24日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の説明の説明をすることができる。	1~14回までの復習総括レポート
15	8月31日	講義・演習	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	総復習総括レポート
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義	アメリカの現代史を説明できる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	ロックミュージックのルーツを解説できる。	ロックミュージックの復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	ロックンロールの誕生について解説できる。	ロックンロールの復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	フォークミュージックの誕生とムーヴメントについて解説できる。	フォークミュージックの復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ブリティッシュミュージックについて説明できる。	ブリティッシュ音楽の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	The Beatlesについて説明できる。	ビートルズについて復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	モータウンレーベルの誕生について説明できる。	モータウンレーベルについての復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	中間確認テスト	1~7回の復習
9	12月14日	講義・演習	1960年代のアメリカ、フラワームーブメントについて説明できる。	1960年代の音楽の研究復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	ハードロック、グラムロックについて説明できる。	グラムロックの研究復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ハードロックのポピュラー化について説明できる。	ハードロックの復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	パンクミュージックについて説明できる。	パンク音楽の復習レポートにおこす。
13	2月1日	講義・演習	MTVについて80年代について説明できる。	MTV80年代の研究復習レポートにおこす。
14	2月8日	講義・演習	ハウスミュージックについてについて説明できる。	ハウスミュージックの復習レポートにおこす。
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習レポートにおこす。
準備学習 時間外学習			ロック&ポップスについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	Music Theory (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田村野安 斎藤恵子 山崎未貴 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。					
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。					
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月27日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	6月3日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
4	6月10日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
5	6月17日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	6月24日	講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	7月1日	講義・演習	中間テスト	前回までの内容の復習
8	7月8日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習する（#系メジャースケール）
9	7月15日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする（b系メジャースケール）
10	7月22日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
11	7月29日	講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を復習する
12	8月19日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月26日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	9月14日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	9月16日	講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田村野安 斎藤恵子 山崎未貴 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。					
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。					
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	5月27日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を聞き音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	6月3日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	6月10日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	6月17日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#となし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	6月24日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#とあり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	7月1日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	7月8日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#となし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	7月15日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度8度、#とあり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	7月22日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	7月29日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	8月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定、音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	8月26日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	9月14日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	9月16日	講義・演習	テスト返却、総復習	前回までの内容の復習
準備学習 時間外学習		前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 林 達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。					
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月29日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月5日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月12日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月19日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月26日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月3日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月10日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	7月31日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月21日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月28日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	9月4日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	9月11日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月18日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月28日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月16日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月23日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月6日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月13日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月20日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月27日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月4日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月11日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月18日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月15日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月22日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	1月29日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	Global Communication (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Paul Searle
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がり恥ずかしがたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	10月14日	講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	10月21日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	11月11日	講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることが出来るようになる 丁寧に返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	11月18日	講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	11月25日	講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	12月2日	講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8	12月9日	講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	12月16日	講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	1月6日	講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	1月13日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	1月20日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	1月27日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	2月10日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	2月17日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	イベント企画(3) イベント企画A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	05月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	06月01日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	06月08日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	06月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	06月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	06月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	07月06日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	07月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チェッキングについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	07月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	07月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	08月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	08月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	08月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	09月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	イベント企画(3) イベント企画B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	オリエンテーション(年間3イベントの説明、授業の進め方、目標確認、前期グループ分け)	コンサート、ライブ、イベントを映像で調べレポート提出
2	05月25日	講義・演習	基礎テスト、グループワーク 情報について理解する	収集した情報を整理 レポート
3	06月01日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 セクションを理解する	収集した情報を整理 レポート
4	06月08日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チーム作業を理解する	収集した情報を整理 レポート
5	06月15日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要ページについて理解する	収集した情報を整理 レポート
6	06月22日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 必要項目の選定を理解する	収集した情報を整理 レポート
7	06月29日	講義・演習	明日への扉 DVD鑑賞、明日への扉 マニュアルを理解する	収集した情報を整理 レポート
8	07月06日	講義・演習	イベントの組み立て方 宣伝について理解する	収集した情報を整理 レポート
9	07月13日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 チェッキングについて理解する	収集した情報を整理 レポート
10	07月20日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 避難経路について理解する	収集した情報を整理 レポート
11	07月27日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 見やすいマニュアルを知る	収集した情報を整理 レポート
12	08月17日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 マニュアルの必要性を学ぶ	収集した情報を整理 レポート
13	08月24日	講義・演習	イベント振り返り、期末テスト	収集した情報を整理 レポート
14	08月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
15	09月14日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して企画・運営を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(4) イベント企画A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月09日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジューリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月07日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベントとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーバーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	01月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	01月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	02月01日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	02月08日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	02月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(4) イベント企画B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 斎藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント - 一人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。					
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	オリエンテーション(後期授業の進め方、目標確認、後期グループ分け)	収集した情報を整理 レポート提出
2	10月12日	講義・演習	ワークショップ(チームワークについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ワークショップ(コミュニケーションについて)学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
4	11月09日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 スケジューリングについて学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
5	11月16日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方を知る	収集した情報を整理 レポート提出
6	11月23日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 資料締切日の設定方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
7	11月30日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 プロデュース方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
8	12月07日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 主催者と制作者の違いを把握する	収集した情報を整理 レポート提出
9	12月14日	講義・演習	基礎テスト、イベントの組み立て方 イベンターとは？を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
10	12月21日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 シーバーの使用方法を理解する	収集した情報を整理 レポート提出
11	01月18日	講義・演習	基礎テスト、マニュアルの作り方 ケータリングについて理解する	収集した情報を整理 レポート提出
12	01月25日	講義・演習	期末テスト	収集した情報を整理 レポート提出
13	02月01日	講義・演習	イベントの反省点から見る必要知識について学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
14	02月08日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
15	02月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して企画・運営を学ぶ	収集した情報を整理 レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) event Management Produce A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) event Work Produce A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) event Work Produce B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) event Stage Produce	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	レポート
2	5月30日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	レポート
3	6月6日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	レポート
4	6月13日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	レポート
5	6月20日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	レポート
6	6月27日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	レポート
7	7月4日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	レポート
8	7月11日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	レポート
9	7月18日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	レポート
10	8月1日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	レポート
11	8月22日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	レポート
12	8月29日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	レポート
13	9月5日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	レポート
14	9月12日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月19日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) event Management Produce A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	イベント制作(4) event Management Produce B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) event Management Produce C	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) event Work Produce A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) event Work Produce B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) event Stage Produce	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾・堀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	レポート
2	10月17日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	レポート
3	10月24日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	レポート
4	11月7日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	レポート
5	11月14日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	レポート
6	11月21日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	レポート
7	11月28日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	レポート
8	12月5日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	レポート
9	12月12日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	レポート
10	12月19日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	レポート
11	1月9日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	レポート
12	1月16日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	レポート
14	1月30日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
15	2月13日	講義・演習	we are TSM!を通してイベント制作を理解することができる	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック、ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1~14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習			西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971) "ジャズ"について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバートジョンソン(1911-1938) ロック、ブルースについて説明できる。	ロバートジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリーパーカー(1920-1955) インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリーパーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス ディヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス ディヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン-アメリカン アーチストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェイムス ブラウン(1933-2006) ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェイムス ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー ジョーンズ(1933-) プロデューサーについて説明できる。	クインシー ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミ ヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミ ヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994) ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー ワンダー(1950-) ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル ジャクソン(1958-2009) モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	就職対策講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 飯泉さか江 上原 和広
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする					
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて	
2	5月29日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ステイブジョブスの偶然をキャリアに	ワークシート
3	6月5日	講義・演習	学生生活キャリアイメージ	ワークシート
4	6月12日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける	ワークシート
5	6月19日	講義・演習	コミュニケーションの難しさ	ワークシート
6	6月26日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力	ワークシート
7	7月3日	講義・演習	面接など基本	VTR/ワークシート完成
8	7月10日	講義・演習	身だしなみについて知る	レポート
9	7月31日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題	質問を考える
10	8月21日	講義・演習	インタビュー課題	ワークシート
11	8月28日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身	ワークシート
12	9月4日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について	レポート
13	9月11日	講義・演習	内定が出てから行うこと	レポート
14	9月18日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします		
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	就職対策講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 飯泉さか江 上原 和広
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にし、行動を促す					
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考えることで自らの将来像をイメージできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	レポート
2	10月16日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	レポート
3	10月23日	講義・演習	グループワークの進め方	レポート
4	11月6日	講義・演習	臨機応変の対応力について	レポート
5	11月13日	講義・演習	社会人失敗例について知る	レポート
6	11月20日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	レポート
7	11月27日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	12月4日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	レポート
9	12月11日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	レポート
10	12月18日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	レポート
11	1月8日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	レポート
12	1月15日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	レポート
13	1月22日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	レポート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2		講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3		講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4		講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5		講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6		講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7		講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8		講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9		講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10		講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11		講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12		講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13		講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14		講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15		講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 達也
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2		講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3		講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4		講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5		講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6		講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7		講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8		講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9		講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10		講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11		講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12		講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13		講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14		講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15		講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				